

図画工作科

図画工作科で求める子どもの姿

表現対象や友だちに自ら働きかけ、造形的な魅力を豊かに感じ取りながら、より想いに合う表現を求めてつくり続ける子ども

「表現対象」とは

材料やテーマ，方法，自他の表現，美術作品等といった，表現や鑑賞の際に関係する全ての「ひと・もの・こと」のこと

「造形的な魅力を豊かに感じる」とは

表現対象がもつそれぞれの造形的なよさや美しさ，面白さを感じ取ること。さらには，自分のよくできたところだけでなく，不十分なところも感じ取ること

「より想いに合う表現」とは

つくりたい形や色，質感，表したい感じなどのイメージや，伝えたい意図が，自分にとってよりの確に表されている表現のこと

「つくり続ける」とは

試すことや，つくったりつくり変えたりすることを繰り返しながら，想いの具現に向けて表し続けること。また，自分の中に造形的な価値観をつくり続けていくこと



育みたい資質や能力

求め続ける力

表現対象に自ら働きかけ，想いをふくらませてつくり続ける力

共に学ぶ力

互いの表現と活動のよさを見だし，表現を高め合う力

見つめる力

表現や活動の変容を振り返り，よく表せたところや，もっとよくしたいところに気付く力



図画工作科で大切にしていきたいこと

(1) 表現のよさだけでなく，改善点を引き出すこと

- 表現の高まりや学んできたことの価値を捉えさせること
- 改善点に気付かせ，次へ進むための意欲や見通しをもたせること

(2) 大切にしたい瞬間を捉え，内面の変容を見つめていくこと

- 子どものつくりたいものが明確になった瞬間
- 表現が変化した瞬間

